

泉南市立東小学校小規模特認校指定の経緯

- H17年 2月 1日 東小学校PTA、地元区長からの要望書提出
- H18年 3月31日 泉南市教育問題審議会答申
- 8月 1日 特認校開設準備委員会設置
- 9月 8日 泉南市教育委員会議に特認校指定実施要綱、特認校児童募集要項、今後の日程等を上程
- 9月11日 特認校指定実施要綱を公布
- 9月13日 泉南市議会（総務文教委員会）に報告
- 9月22日 大阪府教委へ経過報告
- 11月 1日 広報せんなん、ケーブルテレビ文字放送で広報
児童募集のチラシ配布
特認校指定実施要綱、特認校児童募集要項、入学・転学申込書の配布、HPに掲載
- 11月19日 東小学校見学会・説明会
- 12月16日 面談実施
- 12月28日 指定校変更申立書受付締切

泉南市教育問題審議会への諮問事項

第2項「本市における今後の学校教育のあり方について」

(2) 学校規模の適正化と施設設備の整備について

泉南市教育問題審議会答申(H18.3.31)

小規模校の是正

・・・学校の小規模化は、地域との密着や家族的な雰囲気の中で、子ども一人当たりに対する教員数ほかの資源においてゆとりが生じるなど、当該校においてメリットをもたらしてきた側面もある。ただしそのメリットは、子ども一人当たりの公費支出が小規模校では他校よりも相当に大きくなり、その面での不均衡を拡大させることにも注意が必要である。しかしその一方で、クラス替えができないことによる人間関係の固定化によって、いじめなどの人間関係の問題に対応しにくい構造を生み出し、クラス活動やクラブ活動などの集団活動が困難となり、選択肢が限られるなどのデメリットも大きい。特に近年では、小集団指導や選択科目など、教科・領域に応じた柔軟な集団編成によって一人ひとりの個性と学力を最大限に伸ばす教育方法が注目されているが、小規模校での実施はたいへん困難である。また、担任数の減少によって教員一人当たりの学校業務負担が大きくなり、場合によっては十分な対応ができない事態が生じることとなる。泉南市においては、6学級未満の学校については速やかに是正措置をとることとし、6学級以上11学級以下の学校については総合的な政策により12学級以上にすることをめざす。この基準に照らした場合、東小学校はすでに児童数50人、5学級となっており、この後の人口減少によって学級数減少はさらに進むと予想され、早急な是正が必要である・・・

東小学校の過少解消に向けて

- 1) 隣接する〇〇小学校、△△小学校との間で校区を再編する。
- 2) 通学距離が著しく長くなる再編に関しては、通学バスやコミュニティバスによる通学の安全・利便性確保を必要条件とする。
- 3) 特別認定校制度によって他校区からの通学を認める。受け入れの目標は短期的には複式学級の解消とし、中・長期的には単学級解消をめざす。特認校の認可の条件として、環境教育をテーマとする教育内容の思い切った特色化を図るなど、在籍者数を増やすための明確な政策をとることとする。また、学校・保護者・地域住民・学識経験者による特認校運営審議会を常設し、地域住民や外部との協働によって児童募集および児童数拡大のための諸事業を行う。

サン愛塾（東小学校 無料塾）

泉南市立東小学校

東小学校の現状

1. 経営の基本方針 校歌「ともに伸び、ともに進み、ともに励む」学校の実現
 - 個とその違いを大切にする
 - 小規模校の特性を生かす
 - 保護者や地域の願いに応える
2. 今年度の重点テーマ 小規模特認校の特徴を生かした魅力ある学校づくり
 - ① 子どもが満足する学校 ⇒ 一人一人が充実感や学ぶ喜びを味わえる指導
 - ② 保護者が安心する学校 ⇒ きめ細かな指導、丁寧な関わり
 - ③ 地域が誇りに思う学校 ⇒ 学校と地域の連携・協働（次世代の学校地域創生）
 - ④ 職員が生き甲斐と行き甲斐のある学校

- * 保護者の迎えが原則（特認校選択傾向の増加 69名のうち55人）
- * ゆとりある放課後（バス待ち・迎え待ちの時間の活用）
- * 保護者・地域の絶大な協力体制
- * バス下校の関係で放課後学習が実施できていない⇒発想の転換
- * 泉南市教育振興基本計画の放課後学習「泉南スタディ事業」の活用

よりよい学校づくりに向けて保護者・地域と連携する（新学習指導要領の理念）

サン愛塾（東小学校 無料塾）について

学校・保護者・地域の三者が、次代の日本を担う子ども達への愛のもと、確かな学力の定着のために連携して取り組むことを目指す。

- ① 目的
東小学校児童に放課後学習の場を提供し、確かな学力の定着を図る。
- ② 体制
学校、PTA、学校コーディネーターで構成する運営委員会を組織し体制を整備していく。
教員及び学習支援員（保護者・地域・その他）で学習支援を行う。
- ③ 学習内容及び学習支援員の支援内容
学習内容：宿題 及び 自学自習課題をする。
支援内容：教員及び学習支援員は児童生徒を見守り、わからないところなど、支援を行う。
- ④ 開室予定日時 * 今後の状況に応じて変更することもあります。

火曜日	2時 ~ 3時	低学年（1, 2, 3年生）
	3時 ~ 4時	高学年（4, 5, 6年生）
- ⑤ 対象・場所
全学年（希望者） ・ 音楽室（旧幼稚園舎）
- ⑥ 周知及び準備
5月中は周知準備期間とする。6月中の実施を目指す。
- ⑦ その他
今度検討すべきことが出てくれば、その都度運営委員会で協議し決定していく。

少人数でみんな仲良し

平成29年度

児童募集

..... 特認校説明会

11/6 日 午前 8:30 ~ 受付

教育講演会 午前 8:40 ~ 9:40

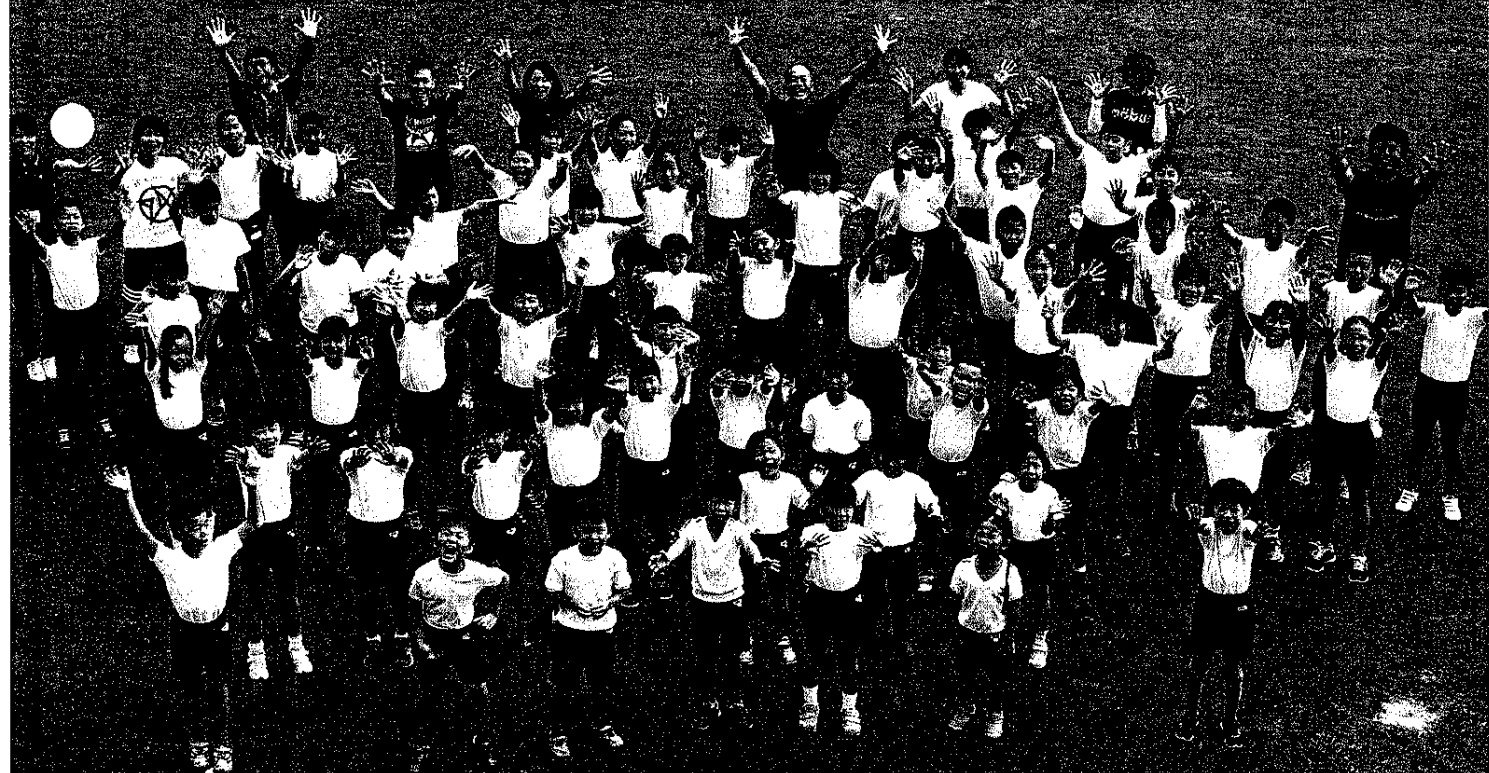
授業見学 午前 9:50 ~ 10:35

特認校説明会 午後 11:30 ~ 12:15

校庭全面芝生

少人数だから徹底指導

1年生からの英語教育



泉南市立東小学校

<http://Sennan-higashi.jp/>

泉南市立東小学校

検索



確かな学力

豊かな人間性

全面芝生の運動場

屋外での遊びやスポーツをするのに転んでも大きな怪我の心配も少ない天然芝生は、思いっきり動き回れるため、身体を動かす楽しさを覚える貴重な場所となっています。東小学校では休憩時間や放課後、子どもたちが自ずとグラウンドに出て、駆け回る姿がよく見かけられます。



地域の方との交流

毎年地域の方々のご協力により「餅つき大会」「昔遊び」「しめ縄作り」など、近年の子どもたちが触れる機会が減りつつある日本の行事も催されます。保護者や先生以外の大人の方と交流し、教えていただいたりすることは、子どもたちにとってとても新鮮で貴重な体験です。



少人数学級

東小学校は1クラス 20人までの少人数制をとっています。少人数教育のメリットは「授業に集中できる」「きめ細やかな対応をしてもらえる」「質問がしやすい」「学習能力や理解度を把握してもらえる」などが挙げられますが、学校全体の雰囲気もとてもアットホームです。



小規模特認校とは？

特色ある教育環境の中で、子どもを学ばせたい、学びたいという保護者や児童に、一定の条件のもと、通学区域内の指定校を変更し、特別に東小学校への入学・転学を認めるものです。

1年生からの英語教育

全学年が週1時間、年間35時間実施しています。英語の音声やリズムを大切に、ゲームや音楽なども使って楽しく学べるように工夫されています。教室のあちこちに英語が目につくように貼り出されるなど、自然と英語に慣れ親しめる環境作りにも力を入れています。



充実した課外授業

東小学校は自然に囲まれた場所にあり、季節によって自然を教材とした課外授業も取り入れています。学校裏の畑で作物を育てたり、学校の傍を流れる木川で魚やサワガニをとったり…。また今年の夏祭りでは子どもたちが作ったトウモロコシでポップコーンを販売しました。



東小学校 Q & A

Q 子どもの登下校はどうするのですか？

お家の方による送り迎え、あるいはさわやかバス（泉南市コミュニティバス）での登下校になります。さわやかバスは樽井駅、和泉砂川駅から出ており、1ヶ月もすればバス友だちもできて安心です。「東小学校前」のバス停には地域の方、教職員が待っています。

Q 留守家庭児童会（学童保育）はありますか？

現在、東小学校にはありませんが、地元の学童保育を利用することができます。また夏季は16:30まで、冬季は16:00まで学校を開放しておりますので、芝生の運動場でたっぷり遊ぶこともできます。（※ただし水曜日は除きます）

Q 卒業後の進路はどうなりますか？

卒業後に就学する中学校は、居住地域の中学校になります。

泉南市立東小学校

TEL 072-482-3500